

## ドイツ語（初級B） 第24回 esの用法（形式主語、熟語）

範囲：教科書 S. 57-59（CDトラック 72-75）

### 《今回の基本例文》

80. In Österreich gibt es keinen Vulkan. (CD73-1)

オーストリアには火山がない。

[esの用法 (es gibt 構文)]

81. Wie geht es Ihren Kindern? – Ihnen geht es ausgezeichnet. (CD74-3)

お子様がたの調子はいかがですか？ – 最高です。

[esの用法 (es geht 構文)]

82. Es handelt sich um meinen alten Freund. (CD75-1)

これは私の旧友の話である。

[esの用法 (es handelt sich um 構文)]

### 教科書第14課 B. esの用法（1） (S. 57)

#### 〈esの特殊な用法について〉

◇ 中性1格および4格の人称代名詞 es には、英語の *it* と同様、さまざまな特殊な用法がある。具体的には、

- ・自然現象などを言うときに用いる形式主語の es（すでに何度か登場）
- ・自動詞の受動に用いる形式主語の es（教科書第14課 A、授業第22回で登場）
- ・副文や zu 不定詞句（英語の *to* 不定詞に相当するもの）を先取りする形式主語や形式目的語の es（すでに何度か登場、ただし zu 不定詞句は教科書第16課で扱う）
- ・es を主語とした熟語表現（**非人称熟語**）

である。

◇ ここでは、自然現象などを言うときに用いる形式主語の es、および es を主語とした熟語表現（非人称熟語）を扱う（ほかは教科書第17課に回す）。

#### 教科書1 自然現象など

◇ **形式主語 es** を立てるのは、

- ・天候や気象を言うとき（⇒教科書 S. 21 など）
- ・日時を言うとき（⇒教科書 S. 37）
- ・（「寒い」などの）生理的、心理的感覚を言うとき
- ・音やにおいなどを言うとき

といった場合である。

- ◇ **天候や気象**を言うときは、**es** を主語に立てる。使用する表現は、
- 天候や気象を表す動詞: **regnen** (=rain、雨が降る)、**schneien** (=snow、雪が降る)、**blitzen** (稲妻が光る)、**donnern** (雷が鳴る) など。  
(例) Es regnet. 雨が降る。  
Es hat geregnet. 雨が降った。 (⇒教科書 S. 49)
  - **sein** + 述語内容語。述語内容語は名詞も形容詞もあり。  
(例) Es ist kalt. 寒い。 (⇒教科書 S. 21)
- ◇ **日時**を言うときは、**es** を主語に立てる。
- 時刻 (⇒教科書 S. 37)
  - 年月日、曜日など (⇒教科書 S. 68)
- ◇ **生理的、心理的感覚**を言うときは、**es** を主語に立てる。
- **es + sein + 〈3 格〉 + 形容詞**: 「〈3 格〉は～である」(〈3 格〉が意味上の主語となる)。  
この場合、〈3 格〉を文頭に出すと **es** は省略される。自動詞の受動と同じ。 (⇒教科書 S. 57)  
(例) Es ist mir kalt. 私は寒い。  
\* Ich bin kalt. では「私の体温が冷たい」になってしまう。  
= Mir ist es kalt.
  - 生理的、心理的感覚を表す動詞: **gefallen** (*vi.* 〈3 格〉の気に入る)、**grauen** (*vi.* 〈3 格〉をぞっとさせる)、**frieren** (*vt.* 〈4 格〉を凍えさせる) など。意味上の主語はそれぞれ〈3 格〉や〈4 格〉となる。やはり、〈3 格〉や〈4 格〉を文頭に出すと **es** は省略される。  
(例) Es graut mir. = Mir graut es. 私はぞっとする。  
Es friert mich. = Mich friert es. 私は凍えている。  
\* Es graut + 〈3 格〉、Es friert + 〈4 格〉は熟語として覚えてしまってもよい。  
\* 繰り返すと、文頭に来ない形式主語 **es** を省略するのは、どの場合でも可能なわけではない(自動詞の受動、生理的・心理的感覚のみ)。天候や気象、日時では不可であり、例えば **Es regnet heute.** は \***Heute regnet.** とはできず、副詞を文頭に建てる場合でも **Heute regnet es.** としなくてはならない。
- ◇ **音やにおい**などを言うときは、**es** を文頭に立てる。
- 音やにおいを表す動詞: **klopfen** (ノック音がする)、**klingseln** (ベルが鳴る)、**riechen** (においがする)。  
\* **klopfen** や **klingseln** は **an** + 〈3 格〉と用いる (〈3 格〉がノックされる、〈3 格〉のベルが鳴っている)。  
\* \* **riechen** は **nach** + 〈3 格〉と用いる (〈3 格〉のにおいがする、〈3 格〉くさい)。

◇ 以上については、初学者にとってはやや細かい事項が多くなっている。いまのところ、天候や気象、日時の言い方だけ覚えておけばよい。

## 教科書<sup>2</sup> 形式主語 es を用いた熟語 (S. 58)

◇ いわゆる**非人称熟語**。これ以外にも数多くあるが、取り敢えず教科書にある重要構文 3 つ (es gibt 構文、es geht 構文、es handelt sich um 構文) を覚えること。

◇ **es gibt 構文**は、

- ・ es gibt + 〈4 格〉で、「〈4 格〉がある」の意味。英語の *there be* 構文に近い。
- ・ 過去形や現在完了などのつくり方については、普通に考えればよい。過去形は es gab + 〈4 格〉、現在完了は es hat ... 〈4 格〉 gegeben. となる (geben はもちろん haben 支配)。
- ・ geben が他動詞なので、必ず 4 格目的語をとり、「〈4 格〉がある」としなければならぬ。そこが英語の *there be* 構文と異なるので注意。there be 構文の場合、there be に続くのは主語であって目的語ではない (ドイツ語の定動詞第 2 位と似たような倒置)。

(例) *There are no stations in this village.*

(主語)

*Es gibt in diesem Dorf keinen Bahnhof.*

(形式主語)

(4 格目的語)

この村には駅がない。

\* 英語の *there be* 構文で「～がない」と言う場合は複数形を用いることが多いが、ドイツ語の es gibt 構文では単数形でもよい。

◇ **es geht 構文**は、

- ・ es geht + 〈3 格〉で、「〈3 格〉の機嫌は～である」の意味。
- ・ gehen の「(事態が) 運ぶ、うまく行く」という用法から来ている。

(例) *Wie geht es Ihnen? – Danke schön, es geht.*

*Wie geht's dir? – Danke, es geht.*

\* geht's は geht es の短縮形。くだけた表現でよく使う。

\*\* 英語の *How are you?* にあたる挨拶の表現としてすでに触れた。これも定型表現としてそのまま覚えておくとよい。

(⇒授業第 2 回配付資料 S. 5)

◇ **es handelt sich um 構文**は、

- ・ es handelt sich um + 〈4 格〉のかたちで使われる。um が 4 格支配なので、必ず 4 格と結ばなくてはならないため。
- ・ 最大公約数的な意味は「～の件である、～のことである」だが、「〈4 格〉が重要である」、「問題なのは 〈4 格〉である」、「これから話すテーマは 〈4 格〉である」など、場合に依りて訳し分けるとよい。

\*\*\*\*\*  
**補足練習問題**

以下の日本語の意味になるようにドイツ語作文をせよ。[] 内に語彙が与えられている場合は、それを用いること（各語彙は適切なかたちに変化させなければならない場合もある）。

1. 昨日は雪が降った。（現在完了）
2. 明日は暑くなるだろう。（未来形）
3. いま何時ですか？
4. いまは〇時×分です。（現在の時刻で答えること）
5. 十分な学生寮や部屋がない。

[genug 十分な（無変化） Studentenwohnheim *n.* 学生寮（Studentenwohnheime *pl.*）  
Zimmer *n.* 部屋（単複同形）]

6. 日本にはたくさんの温泉がある。

[viel たくさんの（形容詞変化） heiÙe Quelle *f.* 温泉（heiÙe Quellen *pl.*）]

7. この近くにスーパーマーケットはありますか？

[hier in der Nahe この近くに Supermarkt *m.* スーパーマーケット]

8. 私たちの街には大学がない。

[Stadt *f.* 街 Universitat *f.* 大学]

9. 当時はお金がなかった。（過去）

[damals *adv.* 当時は Geld *n.* お金]

10. 当時はお金がなかった。（現在完了）
- \*\*\*\*\*

**連絡先など**

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 教員のウェブサイト：http://hasegawa.la.coocan.jp/

授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/